日本共産党 小平市議団ニュース

No.177 2026年7・8月号

日本共産党小平市議員団ホームページ
https://jcp-kodaira.jp/wp/

みんなで力を合わせ憲法9条を守りましょう


総務委員
鈴木 だいち
☎070-2166-6260


環境建設委員長
ほそや　正
☎345-0818


厚生委員
三輪 博美
☎070-2806-7832

6月議会　今こそ、市民の願いが生きる、安心して暮らしやすい街づくりを!!

公マネ計画　20%縮減→10%へ大幅な見直し!

福祉会館等の中央エリア整備や小平第十一小学校等複合化などの事業費が当初の2倍!3倍!に膨れ上がり、市民から批判と疑問の声が上がる中、市は6月18日に大幅な見直し方針「小平市公共施設マネジメント推進計画（2027−2036）骨子案」を発表しました。

主な内容は①**適切な修繕など長寿命化を図り、当初60年とした公共施設の使用年数を80年超えの使用も可能にする、②公共施設の削減床面積を当初の20%縮減から10%縮減に変更する**というものです。



コストの急激な増強に歯止めがかからない状況と、何よりも懸念する市民の声を受け、大きな計画変更を余儀なくされた形です。

公民館・地域センター等の統廃合は長年つくりあげてきた地域のコミュニティを損なうものです。公共施設は地域住民の活動・交流の大事な場所であると同時に福祉の向上に大きな役割をはたしており、小平市民が誇る「宝」です。だからこそ市の勝手な判断で廃止・売却すべきではありません。

今こそ、小手先の事業見直しではなく、市民の願いが生きる計画へと刷新する時です！

膨れ上がる大型開発事業!!見直しが示される

日本共産党小平市議団は以下のように提案します!

①中央エリア整備（当初44億円→123億円）

6月に事業者の応募がなく入札が不調に。縮減目標を20%から10%に見直したのであれば中央エリア整備についてもその縮減目標にそって設計を一から見直すこと。

②小平第十一小学校等複合化（当初約50億〜60億円→111億円）

地域の児童数が増加し、教室数不足が懸念される中、公民館や地域センターをなくし、その機能を学校の中に「（仮称）地区交流センター」として複合化する計画は、防犯面や教職員の過重な負担、子どもたちの学びや育ちへの影響等を鑑み、複合化計画は中止を！



③小川駅西口地区市街地再開発事業（当初約183億円→252億7800万円）

「地下自転車駐車場整備事業」は約11億円から38億円、小川駅舎と再開発ビルをつなぐ「暫定歩行者デッキ」は9366万8000円など、莫大な費用がかかっていることから、西武鉄道と負担割合について協議し、地域住民の理解が得られるよう事業費の精査を行うこと。



住宅密集地に巨大データセンター建設?!市は市民の立場に立った対応を！



三輪博美議員の一般質問（６月議会より）

データセンターは24時間365日稼働するため、莫大な電力を消費し、機器冷却のための排熱も莫大なものになります。周辺の気温上昇、空調設備による振動、低周波、蓄電池・燃料の火災、非常用発電機の運転によるばい煙や騒音などが問題視されています。

天神町１丁目に建設予定のデータセンターは、延床面積約4.1万㎡、高さ25m（８階建てマンション相当）工期は第１期が2026年10月から2028年３月、第２期が2029年12月の予定です。

住民が安全・安心に健康的に暮らす住環境が侵害されないように、近隣住民、事業者、市とともに３者一体で協議することを、市に対して求めました。市と住民が一体となったまちづくりや、計画段階からの住民の声を反映させることが必要です。ゼロカーボンシティ宣言を掲げている小平市として、データセンターは環境アセスメント対象とし、法整備も市から国へ要望すべきです。

市民の声

巨大なデータセンターは知れば知るほど一部の方たちの問題ではありません。周辺には、保育園、二小、九小、三中の通学路もあり、子どもたちの登下校時は大丈夫か？と不安になります。５月16日の事業主説明会には、施工業者は来ておらず、会場からは不満の声が響き渡っていました。予定時間を大幅に過ぎても誰も席を立ちませんでした。小平市は「中立」という一言で、関与しようとしていません。今後は、市にも積極的にかかわり、事業主、住民の声を聞いてほしいです。（花小金井在住、Kさん）



6月議会 市議団の一般質問



鈴木だいち 議員

総務委員会、議会運営委員会、小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会

待機児童43人！「きょうだい」別々入園は5組に1組！認可保育園の増設は待ったなし

２０２６年４月１日現在の待機児童が43人いることが明らかになりました。さらに今年度の「※隠れ待機児童」については２０７人、前年度の１７２人と比較して35人も増加しています。希望する保育園に入園できないことは保護者にとって死活問題であることから、保育の必要量が足りていない地域に認可保育園増設を求めました。

さらに「きょうだい」で同じ園への入園を希望していたものの叶わず別々の保育所に入園せざるを得ないケースは「認可保育園に通っている７３６世帯のうち、１４０世帯」と、実に５人に１組がきょうだい別々入園であることが判明しました。私は「このことは小平市にとって緊急事態であり、『きょうだい』別々入園問題を解消するための年次目標を 市として策定するべきではないか」と質問しましたが、市は「具体的な年次目標を立てることは難しい」と冷たい答弁でした。

最後に市長に対し、任期中までに待機児童ときょうだい別々入園を解消するよう強く要望しました。

※国の公式な統計（待機児童数）にはカウントされていないものの、実際には希望する認可保育所などに入園できず、実質的に待機状態にある児童のこと

公民館や地域センター等の開館時間の短縮方針は改めるべき

市の集会施設等の開館時間は原則、９時から22時までとなっています。小平市が３月に示した「集会施設等の開館時間の見直し（案）」では、地域センターは全ての夜間枠の利用可能時間帯を前倒しにして17時から21時までとし、公民館については３館（中央公民館、小川西町公民館、花小金井南公民館）以外の夜間枠を17時から21時までとするとしています。市民からは「終了時間を22時から21時に短縮すれば、働いている人は使いにくくなる」「公共施設が22時まで開いていることは地域にとって必要なインフラであり市民の安心感につながっている」との声が党市議団のもとに寄せられています。

市は最短で２０２７年４月に集会施設等の開館時間の短縮等を実施することを想定していますが、拙速に決めるのではなく、市民、利用者の意見をもっとよく聞き、開館時間の見直し（案）は撤回すべきです。

党市議団 市長へ緊急要望！

２０２６年５月、イラン戦争による影響から市民の暮らしと営業を守るための緊急要望をしました。

1. 市内の医療、介護、福祉、中小事業者、建設事業者、市の委託事業者などにヒアリングを行い、何が不足し、不安材料となっているか、早急に実態の把握に努めること
2. イラン・中東情勢の影響に関する相談窓口と専用ダイヤルを設置すること
3. 住民税、固定資産税、国民健康保険税の支払いが困難な場合の相談体制を強化すること
4. ゼロゼロ融資の返済猶予を国に求めること
5. 戦争終結のための平和的な外交努力を国に求めること



三輪博美 議員

所属：厚生委員会、公共施設マネジメント調査特別委員会、広聴広報特別委員会委員長

介護保険制度の崩壊!! 安心して利用できる制度へ!!

介護を必要としている人は増えていますが、現状の介護保険制度は崩壊しています。

国が推し進めようとしている①利用料の２割負担の対象拡大②ケアプラン有料化③要介護度１・２の生活援助サービス等を総合事業に移行するなどの計画が検討されています（いわゆる三大改悪案）。このままではサービスを受けることに対し、利用を控えてしまう人が増えてしまいます。



２０２４年度の訪問介護の基本報酬は引き下げられました。そうした影響を受け、２０２５年度の小平市内の訪問介護事業所の倒産・閉鎖件数は４件ということが質疑の中で明らかになりました。介護職員不足は、全国で25万人不足しているという統計があります。

市内介護事業所からは「職員不足を改善してほしい」との切実な声が寄せられています。

現在小平市内の特養ホーム待機者数は、１３４人となっています。「特別養護老人ホームに入所したいけれど、なかなか入れない」という声が寄せられていることから、特養ホームの拡充を求めました。

今後も介護保険制度の崩壊を許さず安心して暮らせるために市内介護事業者への実態調査、介護職員の増員、ケアマネジャーの処遇改善、特養ホーム待機者ゼロ等を市に要望しました。

ほそや正 議員

所属：環境建設委員会委員長、都市基盤整備調査特別委員会副委員長、幹事長、団長

市民の暮らしと営業を守れ

中東情勢悪化による物価高と資材不足が深刻です。市民の暮らしと、市内企業の営業を応援すべきと質問しました。

私たちのもとには、市内事業者から物価高と資材不足が起こり、「ビニール包装の価格が上がってしまった」「ナフサ由来の製品が大幅値上げされた」等、悲痛な声が届いています。

今こそ市民・事業者からイラン・中東情勢の影響について実態調査を行うこと、緊急支援策として補正予算を組むことを求めました。

小川駅再開発ビル地下の駐車場は無料に

小川駅西口地区市街地再開発ビルの、４階・５階フロアには図書館、公民館、市の出張所等が入ります。再開発ビルの地下には入居者用駐輪場と施設利用者駐輪場が整備され図書館や公民館等を利用する方々も停めます。ところが、市施設等を利用する方の費用が不透明です。質問すると、「自転車駐車場の関係ですが、１時間は無料とする可能性を持って、今検討している状況」という答弁でした。

私は、図書館や公民館等、更に投票所となる市施設の駐輪場は無料にすべきであり、市は再考すべきと求めました。

